

令和6年度



園だより



文京区立根津幼稚園

チャレンジする心

主任 今村 久美子

晴れの日が多いこの冬、外遊びが大好きな根津幼稚園の子どもたちは毎日喜んで園庭に飛び出し、体をいっぱい動かして遊んでいます。10月中旬から、年長ほし組は様々な運動遊びにチャレンジすることを繰り返し楽しんでいきます。『ちゃれんじカード』を一人一人が持ち、自分なりにめあてをもって取り組んでいます。縄跳び、一輪車、まりつき、鉄棒、竹馬、登り棒…自分でやりたいことを決めて、繰り返し取り組み、「昨日はこれくらいだったけど、今日はこれだけできるようになった」と、日々実感することがとにかく楽しいようです。最近、友達ができるようになった姿を見て「やったー！昨日より多く跳べたね！」と一緒に喜んだり、「こうやるとうまくいくよ」とやり方のコツを教え合ったりする姿が増えてきました。また、「ボールを弾ませながら縄跳びを跳べるかも」と、自分で新しい技を作り出して挑戦する姿も出てきました。友達と刺激を受けあい認め合いながら、日々できることを増やしている、年長ほし組です。

そのような年長ほし組の姿を近くで見ている年中はな組の子どもたちも、縄跳びや鉄棒に夢中です。「ほし組さんみたいにやってるの」「小学生がこうやって片足跳びしてたよ」と、園庭で遊んでいると目に入ってくる年長者の姿に憧れをもち、チャレンジしています。「たくさんやったら、たくさん跳べるようになったの。見ててね!」「先生、見てて!」と、できるようになったことを先生に見てもらい認めてもらうことが、とにかく嬉しく誇らしげな、年中はな組です。そして、ほし組やはな組のしていることを好奇心いっぱいの目でよく見ている、「大縄を跳びこえる」「ボールを投げたり転がしたりする」こと等に関心をもち、先生や友達と体を動かして楽しむ年少りす組の姿もあります。

根津幼稚園の園庭は、年少・年中・年長・そして小学生と、異年齢の子どもたちがそれぞれの遊びや活動に継続して取り組み、その姿を見合って学び合うことができる、すばらしい環境です。その環境の中で子どもたちは、関心や意欲をもち、めあてに向かって繰り返し取り組み、できるようになる喜びを知っていきます。提示された課題を行うだけでなく、豊かな環境の中で自分からめあてを見付け、主体的に取り組み、楽しさやできるようになる喜びを味わう経験を、幼稚園時代にたくさんしてもらいたいと思います。



年長ほし組 竹馬にチャレンジ



年中はな組 「見て見て!跳べるよ!」



年少りす組 ボールおもしろいね